

第11回 鎌倉市本庁舎等整備委員会 会議要旨

1 開催日時

令和4年（2022年）8月31日（水）10時00分から正午まで

2 開催場所

鎌倉商工会議所会館 301 会議室

3 出席者等

【委員】

国吉 直行 委員長

川口 和英 副委員長

関根 正人 委員(オンラインによる出席)

増井 玲子 委員(オンラインによる出席)

酒井 太郎 委員

小野田 かほり 委員

後藤 和幸 委員(オンラインによる出席)

西野 奈津子 委員

田子 祐司 委員

森安 啓司 委員

【事務局】

林 浩一（まちづくり計画部長）

永井 淳一（まちづくり計画部次長）

石塚 智一（同部市街地整備課担当課長）

友野 辰五郎（同部市街地整備課庁舎整備担当係長）

西島 真悠（同部市街地整備課庁舎整備担当主事）

【事務局（関係職員）】

大江 尚（まちづくり計画部深沢地域整備課担当課長）

奥山 信治（同部深沢地域整備課担当課長）

【事務局（業務協力者）】

山崎 新太（株式会社日本総合研究所）

佐藤 俊介（株式会社日本総合研究所）

李 明喜（アカデミック・リソース・ガイド株式会社）

【傍聴者】

9名

4 次第

(1) 開会

(2) 報告

(1) 深沢地域整備事業の検討状況について

(3) 議題

(1) 鎌倉市新庁舎等整備基本計画（素案）に対する意見公募の結果及び意見に対する市の考え方について

(2) 鎌倉市市庁舎現地利活用基本構想（素案）に対する意見公募の結果及び意見に対する市の考え方について

(3) 鎌倉市新庁舎等整備基本計画（案）及び鎌倉市市庁舎現在地利活用基本構想（案）の
答申について

(4) その他

(5) 閉会

5 開会

事務局 (10名すべての委員にご出席をいただいております、本委員会条例施行規則第3
条第2項の規定のとおり、本委員会が成立していることを報告)

6 報告

(1) 深沢地域整備事業の検討状況について

国吉委員長 報告事項について、事務局から報告をお願いします。

事務局 【報告事項について報告】

国吉委員長 深沢地区のまちづくりは別途進行中の事業であり、その一区画に新庁舎を整
備することで進められている。新庁舎整備は、新しい深沢地区のまちづくりの
スタート事業となる。地区の魅力形成、活力形成と新庁舎の建設は密接に関係
しており重要だと考える。当委員会としても深沢地区のガイドラインを認識
し、理解しながら進めていきたい。

ただ今の報告について、質問等があればお願いします。

全委員 (なし)

国吉委員長 今後ともお互い連携しながら進めていくと認識している。意見がないよう
なので、報告はここまでとする。

7 議題

(1) 鎌倉市新庁舎等整備基本計画（素案）に対する意見公募の結果及び意見に対する市の考 え方について

国吉委員長 議題について、事務局から説明をお願いします。

事務局 【議題について説明】

国吉委員長 ただ今の説明について、質問等があればお願いします。

新庁舎や現庁舎跡地の利活用について多くの意見があった。計画に当たり、
時代に対応した工夫として、DX対応、SDGs、環境への配慮などの意見があった。
今後プロジェクトを進めるに当たり参考となる意見が多く集まった。

この資料は公表されるのか。

事務局 今回の整備委員会の会議資料（未定稿）として、公開予定である。本日の整
備委員会の審議に応じて、答申をしていただきたいと考えており、市としては、
答申を受けた後、パブリックコメントへの対応として市の考え方をまとめた最
終的な確定版を作成の上、公開する予定である。その際、ホームページやパブ
リックコメントを募集した図書館などの公共施設においても配架し、周知する

予定である。

国吉委員長 市の考え方として、表に整理して示されているため、これが公表されること
が重要であるとする。内容が難しいため、できるだけ市民に伝わりやすいよ
うに対応いただくのがよいのではないかと考える。

川口副委員長 非常にたくさんの意見があり、あらためて市民の方々の注目の高さを感じ
た。

新庁舎の議会の場所、深沢図書館の面積、アクセス等、これから解決してい
くべき課題も含まれていると考える。意見一覧の前半部分については、多くの
市民から期待しているなどの意見で、後半には、場所も含め防災等、反対の意
見が出ている。ワークショップの開催等、市も説明の機会を設けているが、さ
らに丁寧にこの情報を伝えていくことが重要ではないかと考える。情報へのアクセ
ス方法についても、最近ではSNSなどデジタルの手段もあるので是非増やしてほ
しい。市のホームページを拝見したところ市長が動画で説明しており、そのよ
うな機会を含めて市民の理解やご協力をいただくことがよいと考える。

現庁舎の改編については、期待をしているご意見もありながら反対意見もあ
った。中にはにぎわい創出について、私自身はよいと考えるが、一方でオーバ
ーツーリズムの問題もあり、これ以上の賑わいはいらぬという意見もあ
った。観光客というよりは、市民の皆さんが勉強する機会や文化活動等で賑わ
うという方向で示すのがよいのではないかと考える。

事務局 新庁舎に関して、パブリックコメントを周知するためという点で、5地域に
対し2回ずつ、市長、副市長も参加し説明会を実施した。その中で、手話通訳
対応も行った。鎌倉エフエム等でも周知を行っており、今後も市民が情報に触
れられるように取り組みたい。

市庁舎現在地については、さらなる観光客の増加のための誘致を行うことは
市も想定していない。誤解が生じないように今後の市庁舎現在地の基本計画策定
の段階の検討でも整理していきたい。

酒井委員 私も一市民であるが、市民それぞれに様々な意見がある。多くの意見を聞き
ながらバランスを取っていくことがよいのではないかと考えている。

森安委員 パブリックコメントの中で、新庁舎に関して、内容を理解していない状態で
意見されている方が多いという印象がある。より情報を深く伝えていくことが
必要ではないかと考える。設計事務所団体の鎌倉支部として、内容が不明確な場合は市
にお声がけして、説明等を受けている。周知していくことが大切だと感じている。

西野委員 子育て支援、障害者支援に携わっているが、自分の周りでは反対の意見を聞
いたことがない。(私の)周辺に若い世代が多いが、城廻、関谷、大船なども
鎌倉市の一部であって、位置として深沢が中心になるのかなという意見も聞
く。子育て世代の意見として、反対がないことを実感として感じている。

小野田委員 賛成の意見が増えてきている印象である。市のほうで様々な媒体で周知して

いるということであるが、興味がないと情報に触れられない状況ではないかとも考えられる。若い世代はスマホで情報を得ている印象があり、そのような面の情報発信が強化できるとよいのではないかと感じた。

田子委員

鎌倉市内の5地域においても、地域ごとの意見の違いがある。新庁舎と市庁舎現在地の両方の内容を合わせて検討し、説明していくことが重要ではないか。

若い人は理解を得やすいが、年配の方々にも理解いただくことが必要だと考える。大船地域については、ほとんどの人から反対の意見がないのが実情である。その中でも問題点が出た時は、市の担当者に確認し理解しながら動いていくことが必要だと考える。

増井委員

パブリックコメントは貴重で、住民の方ならでは意見であると感じる。鎌倉市として、庁舎整備に当たりDX化を研究しているという理解であるが、情報の見せ方についても新しい手法を活用して周知していくことがよいのではないか。本日事務局からどのような意見があったのか、という概要の報告もあったが、そのようなものについても、意見データを集約して可視化できるようなツールも既にある。ネットや紙媒体を含め、伝わるような見せ方を検討いただけるとよいと考えた。

後藤委員

西野委員と同様、30-40代で反対の意見を聞くことは少ない。その中でも反対論としては、市庁舎は旧鎌倉地域にあるべきだという感情論的なものが多い。大切だとは思いますが、感情よりもアイデアを出し合えたら良いと思う。

今の市役所と深沢においては、観光客ではなく市民の皆さんが集い、高齢者も含め活発な活動が行えるような、また、そのような人々が集えるような場所を作ることが必要ではないか。また、子育て中の身からすると、雨の日出かける場所が少ない。また、晴れの日も横浜、藤沢や平塚に出かけることが多いため、鎌倉市内にも広場や公園、イベントを行えるような場所や空間が生み出せたらと考える。

関根委員

パブリックコメントなどの機会をつくって、市民が様々な意見を公言できる環境にあり、よい状況であると考え。賛成・反対の両方の意見があり、気持ちは分かるが少し思考停止になっているような意見もあるという印象がある。その中には有識者にとって厳しい意見も混じっていた。少なくとも我々は科学に基づいて客観的に判断できることを申し上げているため、この点はしっかりご理解いただきたいと思っている。また、このような計画は、今の世代の人のためだけでなく、次の世代以降の市民に対してどのように良い社会あるいはインフラを残していくのかという点も重要であり、視野を広げてより高い視点から物事を捉えていくことも必要ではないかと思う。機会をつくって対話を継続していくことが今後も重要であろうと考える。この件に関しては、しっかりとした手続きの下で事業が進められていると見ているし、パブリックコメントに関してもしっかりととりまとめた上で、市の考え方を示していると考え。

事務局

情報へのタッチポイント等の話が出たため、説明したい。今後の取組として現状考えているものとしては、柔らかく「なるほど」と感じていただけるようなブログのようなものの活用も検討している。インターネットやスマホからのアクセスが難しい方には、説明会の形式、出前講座のようなものが適していると考えている。コロナの関係で現在は案内を停止しているが、深沢地域整備事業と新庁舎整備事業を合わせた形でのまちづくり計画部をあげた説明会を全自治町内会に案内し、ご用命をいただくように案内していた。いずれの方向からもアプローチできるように対応していきたい。

また、パブリックコメントについて、賛否両方出ているが、パブリックコメントは案の可否を問うものではなく、多数決を把握するものでもない。より良い案にブラッシュアップするための意見をいただく制度である。小野田委員からもご意見があったが、賛成の意見が増えてきたという印象である。パブリックコメントの期間中に開催した説明会では、質疑応答で懸念や不安な点を聞き、市長や事務局が答えた記録もホームページに載せているが、賛成、反対の意見の割合の印象としては、9割弱は建設的な賛成寄りの意見と認識している。逆に、別途鎌倉地域の一部の方々からご用命を受けて追加で開催した説明会では、9割がた反対のご意見をいただいた印象がある。地域ごとに違いがあると感じているが、丁寧に説明を重ねてきて関係を築く中で、少し柔らかい感じの受け止めの方が増えている感触があった。

国吉委員長

市は市長による映像での説明等、様々な工夫を重ねている。引き続きいろいろな形での説明等を増やし、市庁舎現在地もセットで考えることを説明していくことが重要であると考え。

他に意見がないようであれば、この議題については、ここまでとしたいが、いかがか。

全委員

(了承)

(2) 鎌倉市市庁舎現在地利活用基本構想(素案)に対する意見公募の結果及び意見に対する市の考え方について

国吉委員長

議題について、事務局から説明をお願いします。

事務局

【議題について説明】

国吉委員長

ただ今の説明について、質問等があればお願いします。

川口副委員長

鎌倉地域からの意見が57%という点から特に対象地域住民の関心度の高さを感じた。地域的なポテンシャルやアクセス等を含め期待が高いと感じた。また、導入機能について意見が分かれていると思われ、公共的な機能と、資金を考慮した民間機能との考え方の整理が必要であると感じた。図書館に対しても多くの意見があったが、個人的には図書館である以上、図書機能がより充実した方がよいのではないかと考えている。鎌倉に関する歴史的な内容も含めたアーカイブや、市民が学べるもの、子どもが遊べるような空間があるとよいので

はないか。最近では、図書館に市民交流機能を持たせるような事例も増えており、それも含めた上で鎌倉にふさわしい文化機能を作る必要があると考える。遺跡等の制約もある中で、これからレイアウトも含めて検討してほしい。

酒井委員

市庁舎現在地の利活用については、深沢地域とセットで、現在地がより良くなっていくことについて市民に対して説明していくことが必要ではないか。また、防災面やユニバーサル的な面を入れる等の際に、市民活動を行っている方たちの意見を聞きながら進めていただくとよいのではないかと。例えば、市役所内に防災の担当課はあるが、様々な市民活動を行う人々を巻き込んだり、防災に携わる人々の意見を聞く必要があるのではないかと。子育てに関しても同様に、実際に行っている方の意見を参考にしながら進めていくと、より市民のニーズに近づけるのではないかと。例として、砂浜にバリアフリーのトイレがあるが、車いすでは使えないという意見を聞き、改善したことがある。今後の検討を進めていく中で、特色を持って活動している方々の意見を聞けることがよいのではないかと感じた。

西野委員

鎌倉では子どもたちにとって雨が降った時に行くところがなく、市外でないと騒げる場所がないという状況である。鎌倉駅近くにそういった場ができるとういのではないかと考えている。晴れた時にも遊べるような公園的なものがあるといいかと期待する。

図書館についても子ども用のスペースがあるが、騒げないので15分ほどしか滞在できない状況であり、必要な用事が済んだら帰ることになるので、結果的にスペースは空いてしまっている。子どもが騒いでも大丈夫な図書室、高齢者もバリアフリーで安心して行ける図書室、また妊婦も安心して行ける図書館が実現できるとよいのではないかと。また、施設が出来上がった後にも意見を吸収できるような形で整備されるとよいのではないかと考えている。

森安委員

具体的なことが記載されている印象である。図書館の意見がとても多いという点が印象的である。また、バスターミナルに関して、深沢と鎌倉をつなぐバスターミナルがきちんと出来上がることが大事と感じた。一方で面積が足りないのではないかと感じた。現庁舎だけでなく、御成小学校、図書館を含めて一つの敷地ととらえて、防災面や今議題に挙がっているものを考えると何とかするのはないか。深沢に市役所が移転してしまうことに懸念している人にとっても、市庁舎現在地にシンボリックなものができるまちづくりができれば、反対する人はいないのではないかと。現庁舎の利活用問題もあるが、もっと広い視野を持って計画を進めることが必要なのではないか。

また、この事業はこのタイミングでないとできないため、調整等を行いぜひ進めていただきたい。具体的に言うと、旧中央図書館のおなり子どもの家について、建て直すのではなく、移築すればよかったのではないかと考えている。全体を見渡して、大きい敷地の中で見た時に、固定化すると次がやりにくくなる。そうではなく、全体を見て計画を進めていくことをお願いしたい。

国吉委員長 学習機能はいろいろな都市で充実、進化してきているが、一方でパターン化しているという見方もある。利用者数が多いからよいというだけではない。鎌倉のことを知るための学習と、鎌倉市民が学ぶという面があり、分けるか、一つのスペースで同居すべきか等検討ができるのではないかと。図書機能については非常に関心が高い。うまい連携の仕方などを今考えていくべきであり、よいチャンスとも言える。

田子委員 深沢に何を建てるかを決めながら、市庁舎現在地に何を建てるのかを決める必要がある。構想もなく、これもやろう、あれもやろうというのは何にもならない。例えば、市庁舎現在地は、図書館や福祉に使い、深沢地区では球場がない等の課題に対し運動施設を設けるなど、鎌倉市全体のこととしてそれぞれ特色を打ち出した構想を練った上で作らなければならないのではないかと。結局何をしたいのか分からないのはよくない。また、野村総合研究所の跡地についても合わせて構想していくことも必要ではないかと考えている。

国吉委員長 いろいろな期待感があるが、機能を絞って検討していくことが必要となる。現在地では特色を持たせる中で、的の絞り方は今後の課題である。

小野田委員 現庁舎が鎌倉のシンボルのような意見を持っている方が多いと感じた。だからこそ残るものは何がよいのかという議論が熱いと感じた。行政機能は移すが、ここに何を残すのか、また、図書館機能等にフォーカスして伝えていくことでご理解いただけると感じた。

関根委員 市民が図書館に期待しているものが、かつてと今とでは大きく変わってきているのではないかと。本を借りて読んで返す機能、本の内容を確認するための閲覧場所、調べながら執筆するあるいは友達と夏休みに勉強するための静かな空間、といったかつてのイメージに引きずられない方がよいかもしれない。たとえば、小さな子どもが遊べる場所の少し離れたところに、高校生が静かに勉強できる場所が共存するような空間が望ましいのであれば、それはかつての図書館とは違う空間の使い方になり、そもそも空間設計を変えなければならない。図書館は今後どのような空間であるべきかの議論を重ねつつ、あわせて今後ニーズが変わってきたときに空間の仕切りを変更しやすい構造にしておくことなどの工夫が大事ではないかと思う。また、最近は本を電子端末で読む人も増えている。実際に本を手にする機会を維持することも大事だが、本や資料を自宅で電子検索し、たとえば冒頭部分だけを読むことができるようにする、など多様なニーズが出てくるのではないかと思う。柔軟な思考をもとに検討を進めることが必要になると考える。

国吉委員長 ニーズに対するフレキシビリティに関してのご意見であるが、本庁舎の整備に対しても同様の意見をいただいている。新庁舎の整備の後の整備時期となり、まだ多少時間があるため、現在の先進事例を見つつ、その将来性も見据えながら、議論を進めていければと考える。

後藤委員 市民の声をすべて取り入れてしまうと、建物だらけになり、スペースが足り

ないのではないかと感じる。鎌倉商工会議所青年部で現庁舎の駐車場でオクトーバーフェストを実施しているが、ある程度の交通の便がありながら広いスペースがある場所が鎌倉市内にはなかなかない。このような場所を残しておくことも必要だと考える。ただ残すのももったいないという意見も分かるので、昼間は駐車場、イベント時には広場として活用等できればよいのではないかと。また、移動ができるようなものとしてプレハブやキッチンカーのようなものも活用することも組み合わせながら、必要最小限のものを順序良く建てていく必要が、予算の兼ね合いからもあるのではないかと。また、建物の設置は鎌倉市でもよいが、運営については民間企業に任せることも有効と考える。防災については、津波の被害を受けやすい場所であるため、防災設備は強力にしていきたい。

増井委員

現段階では、新庁舎については基本計画であり、跡地は基本構想となっているためテイストも異なっている。新庁舎のほうは、具体的な機能を備えたコンパクトなものを目指す一方で、市庁舎現在地利活用についてはコンパクトという考え方ではじかれてしまった部分への期待、鎌倉地域にあるという可能性がいろいろと膨らんでいるように感じる。次の段階で具現化し、限定されたスペースやコストの中に整理する中で、様々な意見が出ると思う。公共施設を検討するワークショップにおいて、市民と理想的な内容を議論し、最後にコストの考えを入れ、何を削るのか、共有化するのかを検討し、良いプランができたという事例がある。機能や使い方の議論を進める中で、コスト面の制約についても市民の皆さんと考える試みができるとういのではないかと。より鎌倉市が持続可能なまちづくりを目指していけると思う。

国吉委員長

基本構想から基本計画に移していく中で、非常に参考になる意見をいただいた。

他に意見がないようであれば、この議題については、ここまでとしたいが、いかがか。

全委員

(了承)

(3) 鎌倉市新庁舎等整備基本計画(案)及び鎌倉市市庁舎現在地利活用基本構想(案)の答申について

国吉委員長

議題について、事務局から説明をお願いします。

事務局

【議題について説明】

国吉委員長

答申案とそれに付随する二つの基本計画と基本構想、案を添付して答申とするとの説明である。消防機能についての表現に一部修正が入ったとの補足があったが、市民意見等を踏まえて、また、その修正が反映できていなかった部分の修正で内容としては問題ないと思われる。また、A4サイズで3ページにわたる答申については、事前に確認し、一部意見を入れるなど修正を加えてきた。

冗長性という表現があるが、これは無駄ということではなく災害時等に対し

て二重の構造にしておくことで、いざという時に対応できるという意味である。Yahoo 等においても本社機能の一部を東北等に置くことで、本部が機能しなくなった場合でも東北ですべてデータが管理されているため、業務継続が可能となる。そのような二重性のようなものが必要であるということをやっている。

ただし、一般的に市民に伝える時には、分かりやすいように作ったほうがよいかも知れない。

ただいまの説明について、質問等があればお願いします。

増井委員

答申案としては、分かりやすくまとめられていると感じる。今後の進め方については、新庁舎の整備は深沢地域整備事業、鎌倉地域の市庁舎現地利活用と連携して進めていく必要があるとの記載があるのは理解した。また、この事業は鎌倉市全体の公共施設再編の目玉であると考えられる。庁舎のコンパクト化を実現し、サービスを充実させる上でも、市内の公共施設との連携や機能分担が必要になるため、欠かせない視点としてこのことについて記載いただくことがよいかと考える。

国吉委員長

非常に適切な意見であったと考える。二つの事業を進めるに当たって両者の関係、また、深沢地域のまちづくりとの連携関係を密接に行うということで、それに合わせて公共施設再編の事業とも連携をしながら進めるということを入記した方がよろしいか。

事務局

3の進め方の中において、公共施設再編の観点での市内の公共施設との連携も踏まえてほしいという意見と認識した。この点について、答申案を修正して入れるものなのか、答申はこのままでその視点を持って市が取り組めばよいというご意見なのか確認したい。

増井委員

答申への記載をお願いしたい。

国吉委員長

本文5行の後に、市内の公共施設再編との連携も図りながら進めていく旨を記載いただくことでどうか。

事務局

すぐに修正案を作成したいと考えているが、軽微な修正であるため、対応後委員長一任で問題ないか。

国吉委員長

事務局修正後、委員長が確認し、当委員会からの答申とすることでよろしいか。

全委員

(了承)

8 その他

事務局

この後の予定としては本日の審議結果に基づく答申を受けた後、鎌倉市新庁舎等整備基本計画及び鎌倉市市庁舎現地利活用基本構想の策定に向けた事務作業を進めていく。

具体的には市議会9月定例会の建設常任委員会に取組状況の報告を行ない、9月下旬を目安に策定を予定している。策定後はパブリックコメントの結果等

と一緒にホームページ等で策定した計画を公開していく予定である。

なお、次回の委員会の開催については未定だが、市では令和5年度にかけ、市庁舎現在地の利活用に関する基本計画の策定を進める予定である。引き続き本委員会での審議を進めていく考えであり、ご協力をお願いしたい。

また、新庁舎の整備について今後建物の設計を進めたいと考えている。このため、基本設計などを担う受注者の選定に当たって、別途、建築意匠やまちづくり、DX、防災、環境などの分野の有識者などによる新庁舎等の設計者としてふさわしい受注者を審査、選定する委員会を設置する予定である。そして、選定した設計者などが市民意見や社会情勢を踏まえて設計を進める予定である。新庁舎等の整備については、当委員会の手を離れるが、適宜情報提供、報告をしたいと考えている。

本日の会議要旨については、事務局で案を作成次第メール等で委員の方々に確認の上、確定する。閉会后、市長から挨拶があるため別室へのご移動をお願いしたい。

国吉委員長

市庁舎現在地については、引き続きお願いしたい。

新庁舎については、一区切りとなる。長い間議論に参加いただき、感謝申し上げます。

以上をもって、第11回の本庁舎等整備委員会を終了する。

以上